

2024 しぶやおすすめの本50 小3・4年リスト

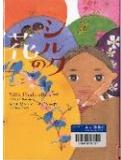
表紙をクリックすると本がどこの図書館にあるかわかります。予約もできます。

* は新しく選ばれた本です

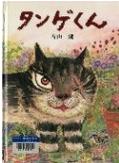
書名(小3・4向)	著者	内容紹介
<p>1  あかりをけして</p>	アーサー・ガイサート	<p>くらいとこわくてねむれないコブタ。でもパパとママは8時にはあかりをけしてって言う。あかりをけして、ねむってしまってからくらくらなければいいのに。そうだ、くふうしてみよう！せっけいずを作り、ハサミやドミノやボールなど、たくさんの物を使って…できた！</p>
<p>2  ありがとう、フォルカーせんせい</p>	パトリシア・ポラッコ	<p>トリシャは本が大好きなのに字がよめないので、ともだちにいじめられます。でも、新しい学校でであったフォルカー先生は、トリシャが字がよめないことを知ったとき、とくべつなれんしゅうをはじめました。</p>
<p>3  イオマンテ</p>	寮 美千子	<p>アイヌ民族(みんぞく)のくま送りの儀礼(ぎらい)「イオマンテ」。赤ちゃんぐまといっしょに成長(せいちょう)していく少年の目をとおして、めぐる命のとうとさをかんじることのできる絵本です。</p>
<p>4  石たちの声がきこえる</p>	マーグリート・ルアーズ	<p>この本の絵はシリア人のニザールさんが石を組み合わせて作っています。シリアでは戦争(せんそう)のためにおおくの人が難民(なんみん)として他の国へにげていきました。自分の国からにげなくてはいけないかなしいおはなし。石の絵から人間のよろこびやかなしみがつたわってきます。</p>
<p>5  いろのかけらのしま</p>	イ ミョンエ	<p>ぼくの住んでいるしまには、たくさんの色があふれています。色は川をながれてやってきたり、なみにのっておしよせてきたり。色がふえるにつれて、ぼくのだいすきな魚たちがへっていくような気がするよ。「色」とは、いったい何なのでしょう？</p>

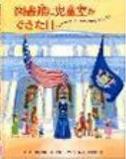
書名(小3・4向)	著者	内容紹介
 <p>6 いわたくんちのおばあちゃん</p>	天野 夏美	<p>いわたくんのおばあちゃんは、ぜったいに、家族(かぞく)といっしょに写真(しゃしん)をとらない。その理由(りゆう)は、おばあちゃんが16才の時にとった1枚の古い家族写真にあるんだ。広島に原爆(げんぱく)がおとされたのは、その写真をとったすぐあとだった。</p>
 <p>7 エーミルはいたずらっ子</p>	アストリッド・リンドグレーン	<p>エーミルはまるくて青い目、ふっくらほっぺで金髪(きんぱつ)の男の子。見た目はかわいく、天使(てんし)のようですが、いじっぱりで、自分の思いどおりにしないと気がすみません。ネコをおいまわしたり、生クリームをこぼしたり…。さて、今日は何をしでかすのでしょうか。</p>
 <p>8 絵くんとことばくん</p>	天野 祐吉	<p>おこづかいがもっとほしい！そこでぼくは、おこづかいアップをうったえるポスターを作ることにした。するとぼくの頭の中で〈絵〉と〈ことば〉が会話(かいわ)をはじめて…。おこづかいをあげたくなるのは、どんなポスター？みんなもさんこうになるかもね。</p>
 <p>9 絵本眠れなくなる宇宙のはなし</p>	佐藤 勝彦	<p>宇宙(うちゅう)にはいくつの星があるのだろうか？宇宙はどこまでつづいているのだろうか？ねむれない夜は、宇宙のことをかんがえてみませんか。天文学(てんもんがく)の歴史(れきし)に始まり、むかしの人々の宇宙についてのかんがえや理論(りろん)を、わたしたちにやさしくおしえてくれます。</p>
 <p>10 おじいちゃんの口笛</p>	ウルフ・スタルク	<p>ぼくのとみだちベツラには、おじいちゃんがない。だからおじいちゃんをみつげられる場所(ばしょ)をおしえてあげたんだ。そこには、口笛(くちぶえ)のうまいおじいちゃんがいたよ。ベツラはそのおじいちゃんのまごになることにしたんだ。</p>

書名(小3・4向)	著者	内容紹介
11 * おそうじをおぼえたがらないリスのゲルランゲ 	ジャンヌ・ロッシュ＝マゾン	「おそうじだけはおぼえたくありません！」おそうじがきらいで家をおいだされてしまった、リスのゲルランゲ。マヌケなおオカミ、ごさかしいキツネ、おひとよしのアナグマ、やさしいフクロウたちを、げんきいっぱいにふりまわします。あいされじょうずなゲルランゲです。
12 おどる詩あそぶ詩きこえる詩 	はせ みつこ・編	身も心もおどりに出たくなるような詩集(ししゅう)です。子どもが作った詩から言葉使いの名人(めいじん)たちの詩までバラエティーゆたか。『ころち ぴちくちぺちぽ ちてびるば』さあ声に出して音をあじわってみましょう。どんな意味(いみ)かって？本を読むとわかりますよ。
13 * オンネリとアンネリのおうち 	マリヤッタ・クレンニエミ	オンネリちゃんとアンネリちゃんは大のなかよしです。ふたりは夏休みに「ふたりの小さな女の子のおうち」を買いました。小鳥もいれば、お人形もあるし、お料理のできる小さな台所もあります。ふたりはこのすてきなうちでくらすことに決めました。(TRCマークより)
14 * かあちゃん取扱説明書 	いとう みく	ぼくのかあちゃんは朝からガミガミうるさいし、ケチだし、ぼくが「おいしい」と言うと同じごはんをつくる。とうちゃんは、そんなかあちゃんを「とにかくほめる」のが、うまくあつかうコツだという。ぼくはかあちゃんのあつかい方をマスターするために、かあちゃんのとおりあつかい説明書を書きはじめるが…。(TRCマークより)
15 風をつかまえたウィリアム 	ウィリアム・カムクワンバ	ウィリアムは目をして考えた。家のそばに風車(ふうしゃ)を作ったらどうかな？風がふけば電気が作れるからあかりがつくし、地下から水をくみあげることもできる。アフリカのまずしい国マラウィの少年が、手づくりの風力発電(ふうりょくはつでん)に挑戦(ちょうせん)する、実際(じっさい)にあった話。

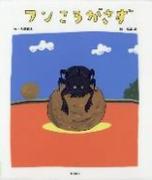
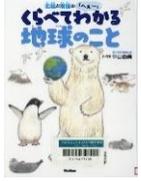
書名(小3・4向)	著者	内容紹介
16 こちら『ランドリー新聞』編集部 	アンドリュー・クレメンツ	<p>転校生(てんこうせい)のカーラは、自分で作った「ランドリー新聞」を教室にはりました。記事(きじ)の中には担任(たんにん)のラーソン先生を批判(ひはん)する内容(ないよう)も。クラスのみんなはおもしろがりましたが、もちろんラーソン先生はおこりだします。でもカーラは引きさがりません。</p>
17 このあとどうしちゃう 	ヨシタケ シンスケ	<p>死んだおじいちゃんのへやをかたづけていたら、ベッドの下から「このあとどうしちゃう?」ノートがでてきた。「このあとのよてい」「てんごくにいくときのかっこう」「うまれかわったらなりたいもの」…おじいちゃん、こんなことを考えていたんだ。</p>
18 * ジュリアンはマーメイド 	ジェシカ・ラブ	<p>ジュリアンは、でんしゃでおばあちゃんとプールからかえるところ。そこへ、マーメイドのすがたをしたおねえさんたちがのりこんできた。マーメイドがだいすきなジュリアンが「きれいだなあ」とみとれていると、「ほら、おりのよ」とおばあちゃんからこえをかけられた。ジュリアンは、おばあちゃんに「ぼくもマーメイドなんだ」とうちあけ…。(TRCマークより)</p>
19 ジョナスのかさ 	ジョシュ・クルート	<p>1750年当時(とうじ)、イギリス紳士(しんし)がかさを持ちあるくのは、ありえないことだと考えられていた。でも、ジョナス・ハンウェイはちがった。ある日、雨がふりだすと、ジョナスがクイーンスクエアの家から外へと一歩ふみだした…かさをさして!</p>
20 シルクの花 	キャロリン・マースデン	<p>はだしのあし、たけのマット、きいろいチョウ、バナナのはっぱがつくる日かげ、ピンクのハイビスカス、スイレンの葉、雨のしずく、おばあちゃんの髪(かみ)のレモングラスのにおい。シルクのかさに、絵の中に、いろいろな色をとじこめる。ノイのゆめは画家(がか)になること。</p>

	書名(小3・4向)	著者	内容紹介
21	* せかいいちのねこ 	ヒグチ ユウコ	ぼくは、ぬいぐるみのねこのニャンコ。なまえをつけてくれた男の子とずっとなかよしでいるにはどうすればいいか、いつもかんがえているの。そうしたら、ともだちが「ねこのヒゲをあつめて、からだのワタといっしょにすれば、ねこにちかくなるよ」とおしえてくれて…。(TRCマークより)
22	世界一のランナー 	エリザベス・レアード	エチオピアの田舎(いなか)に住むソロモンのゆめは、世界一(せかいいち)のランナーになること。ソロモンが11歳になったある日、じいちゃん(おじいちゃん)はソロモンをつれて首都(しゅと)アディスアベバにでかけるといいます。ソロモンは、そこでじいちゃん(おじいちゃん)のしられざるかこ(かま)をすることに…。
23	* 世界でいちばんやかましい音 	ベンジャミン・エルキン	せかいでいちばんやかましいまち「ガヤガヤ」の王子さま「ギャオギャオ」はやかましいおと(おと)がだいすき。たんじょうび(たんじょうび)にはいちばんやかましいおと(おと)がききたいと、せかいじゅう(せかいじゅう)におしらせ(おしらせ)をだしました。はたしてたんじょうび(たんじょうび)のおいわい(おいわい)は、どうなったのでしょうか。
24	空を飛んだ男の子のはなし 	サリー・ガードナー	トーマス・トップの誕生日(たんじょうび)のねがい(ねがい)ごとは「空をとべるようになること」。そのねがい(ねがい)ごとを不思議(ふしぎ)なようせい(ようせい)がかなえてくれます。空をとぶ(とぶ)って最高(さいこう)！子どもたちはわくわく(わくわく)！でも大人(おとな)は、トーマスが目の前(まへ)でとんでも、現実(げんじつ)だとはしんじてくれません。
25	* たべられるしょくぶつ 	森谷 憲	「たべられるしょくぶつ」ってなんでしょう？それは、わたしたち(わたしたち)のいちばんみちか(みちか)にある、やさい(やさい)です。小さいたね(たね)から、食べられるようになるまで、ひとつひとつのやさい(やさい)が、どのように育つ(う)のか(か)が、みひらき(みひらき)1ページ(1ページ)に、わかりやすく(わかりやすく)しょうかい(しょうかい)されています。

	書名(小3・4向)	著者	内容紹介
26	 タンゲくん	片山 健	ある日、わたしの家にタンゲくんがやってきた。タンゲくんは片方の目がケガでつぶれたねこ。タンゲくんはうちのねこになった。ひるまはどこかにでかけているけれど、夜はちゃんとかえってくるタンゲくん。わたしはタンゲくんがだーいすき。
27	 点子ちゃんとアントン	エーリヒ・ケストナー	点子(てんこ)ちゃんとアントンは大のなかよし。アントンは病気(びょうき)のおかあさんのために、夜のまちでものうりをしています。点子ちゃんは大きなおやしきに住むお金持ちの子なのに、やっぱり夜のまちでマッチ売りをしています。どんなわけがあるのでしょうか？
28	 天使のいる教室	宮川 ひろ	1年2組サトパン先生のクラスにあきこちゃんは、むずかしい病気(びょうき)で、なかなか学校に来られません。でもあきこちゃんは、学校に来るのがたのしくてしょうがないのです。クラスのみんなにとって、あかるいあきこちゃんは天使(てんし)でした。
29	 天の鹿	安房 直子	鹿撃(しかう)ち名人の清十さんは、あるばん、不思議(ふしぎ)な鹿に出会います。鹿につれられて行ったのは、はなれ山の鹿の市。そこで清十さんは三人いる娘(むすめ)のうち、上の娘のために、紫水晶(むらさきすいしょう)の首飾(くびかざ)りを買います。ところが、秋祭りの夜、その首飾りをつけた上の娘は…。
30	 とうちゃんはかんばんや	平田 昌広	ぼくの父ちゃんはかんばん屋。いろいろなお店のかんばんをかくのが仕事だよ。ぼくのじいちゃんもかんばん屋だったんだ。ぼくは父ちゃんが大好きで、父ちゃんのかくかんばんが大好きなんだ。

書名(小3・4向)	著者	内容紹介
31  図書館に児童室ができた日	ジャン・ピンボロー	昔、アメリカの小さな町にアンという女の子がいました。子どもが図書館(としょかん)に入ることさえできない時代(じだい)です。でも、自分の考えをしっかりと持ち、本が大好きだったアンは、やがて図書館の専門(せんもん)の勉強(べんきょう)をはじめます。
32  ともだち	谷川 俊太郎	ともだちとけんかした日、何か心の中がおも一くなる。ともだちといっしょなら、楽しいことが2倍になる。一人じゃできないことも、ともだちと力をあわせれば、きっとできる。ともだちっていいよね。
33  友だちになれたら、きっと。	ガリト・フィンク	イスラエルとパレスチナの間で紛争(ふんそう)が起こっているのを知っていますか？宗教(しゅうきょう)や文化などの背景(はいけい)が複雑(ふくざつ)にからまっているこの地域(ちいき)で、みんなが仲良く平和(へいわ)にくらせる方法はあるのでしょうか。日本から遠くはなれた国のことですが、みなさんも考えてみてください。
34  どんなかんじかなあ	中山 千夏	目が見えないって、どんなかんじかなあ。考えてみたことはある？ためしてみたことはある？ひろくんは、ためしてみた。するとびっくり！なんてたくさん、いろいろな音！見えないってすごいんだって思ったよ。
35  ネコのアリストテレス	ディック・キング＝スミス	ネコには9つの命があるそうです。白ネコのアリストテレスはそのことを知らずに、魔女(まじょ)にもらわれていきました。こわいもの知らずのアリストテレスはぼうけんをくりかえし、命はひとつ、またひとつとへってゆきます。

書名(小3・4向)	著者	内容紹介
36  ねずみのアナートル	タイタス	ねずみのアナートルはまいばんくらくらになると、自転車(じてんしゃ)にのってパリの町にでかけます。ひみつのろうかをぬけて、人間の家に入りこみ、食べ物をさがすのです。あるばん、人間の話を聞いたアナートルは、何か人間のやくにたちたいと思いました。
37  はじまりはたき火	まつむら ゆりこ	遠い遠い昔、人間は火をつかいはじめ、火のおかげでたくさんの発明(はつめい)をしてきました。火とともにべんりなくらしをつづけてきた私たち。でも、火を使うということは、地球(ちきゅう)が長い年月をかけてはぐくんできたかぎりある資源(しげん)を使うということなのです。
38  パパはジョニーっていうんだ	ポー・R・ホルムベルイ	「もうすぐ電車(でんしゃ)が来る。パパをのせた電車が」ティムは、両親(りょうしん)の離婚(りこん)でママとくらすことになったが、今日は久しぶりにパパと1日をすごせることになり…。親子(おやこ)のきずなについてかたりかける絵本。
39  ひげねずみくんへ	アン・ホワイトヘッド・ナグダ	「ねずみになったつもりで2年生に手紙(てがみ)を書けだなんて…ばかみたい」と4年生のジェニーは思いました。がんばって書いた手紙に返ってきたのは、不思議な手紙でした。どんな文通相手(ぶんつうあいて)なのでしょう？
40  ひとはみな、自由	中川 ひろたか・訳	世界人権宣言(せかいじんけんせんげん)は、地球上(ちきゅうじょう)に生きるみんなが自由(じゆう)に生きていけるように宣言されました。人はみな、自由に生きる権利(けんり)を持っています。どこまでも自由に幸せに生きていいのです。みんなが持っている自由という権利についてかんがえてみませんか？

書名(小3・4向)	著者	内容紹介
41  ファーブル昆虫記	ファーブル・原作	フランスの昆虫学者(こんちゅうがくしゃ)ファーブルが、辛抱強(しんぼうづよ)い観察(かんさつ)と実験(じっけん)をして書いた本がこの「昆虫記」です。1～7巻ではいろいろな昆虫について、8巻はファーブルの伝記です。興味(きょうみ)のある昆虫の巻だけでもよんでみてください。
42  フンころがさず	大塚 健太	どうぶつのフンをころがすから「ふんころがし」。だけど、みんなはへんなやつだと言う。そこで思いついた！フンをころがすなんてやめて、「フんころがさず」になってやる。だけど、それって本当のぼくなのかな？
43  ベンのトランペット	R. イザドラ	ベンは毎日、学校のかえりにジャズ・クラブのミュージシャンたちの練習(れんしゅう)を見にいく。特に好きなのはトランペッター。朝から晩までリズムによって心の中のトランペットをふきならすベンに、ある日トランペッターが声をかけた。
44  ぼくだけのこと	森 絵都	兄弟(きょうだい)の中でも自分にしかないもの。ともだちの中でも、自分しかできないこと。学校の中でも、他の人にあっても自分にはないもの、他の人ができて自分はできないこと。今日もみつけよう、ぼくだけのこと。
45  北極と南極の「へえ～」くらべてわかる地球のこと	中山 由美	この本を書いた中山さんは、新聞記者(しんぶんきしゃ)として北極と南極で取材(しゅざい)をしました。北極と南極ってどっちがうの？南極はこの国のものだと思う？北極と南極から見た地球(ちきゅう)の未来(みらい)とは？そのこたえがこの本の中にあります。

	書名(小3・4向)	著者	内容紹介
46	* みしのたくかにと 	松岡 享子	ふとっちょおばさんが、なんのたねかわからないたねをにわにまきました。どんなめがでてくるのか「とにかくたのしみ」でしたが、このたねをまいてほんとによかった、とおもえるたのしいできごとがありましたよ。
47	みどりの船 	クエンティン・ブレイク	夏休み、ぼくたちは探検家(たんけんか)になっておやしきのにわにもぐりこんだ。そこでなんと、木でできたみどりの船をみつけた。毎日ぼくらはみどりの船で、世界じゅうを旅(たび)したんだよ！
48	* 野鳥のレストラン 	森下 英美子	鳥たちはおなかに食べ物をためられないのでいつも腹(はら)ペコです。さあ、外に出て、耳をすましてみましよう。鳥たちが、食べ物を探(さが)していたり、何か食べていませんか？花のみつを吸(す)う鳥たち、毒草(どくそう)の実を食べる鳥たちなど、鳥たちの食事のようすを写真でくわしく解説(かいせつ)します。(TRCマークより)
49	ルドルフとイッパイアッテナ 	斉藤 洋	飼(か)い猫(ねこ)のルドルフは遠い町に来てしまい、トラ猫に出会う。名前が「いっぱいあってな」と言われ、それが名前だとかんちがい。その後、2匹の生活がはじまり、ルドルフはノラ猫生活を教わっていく。エサのもらい方や、字のよみかたまで。
50	レッド 	マイケル・ホール	レッドは赤いクレヨン。でも赤くぬるのが得意(とくい)ではありません。まわりのみんなが応援(おうえん)してくれても、やっぱりうまくかけません。ある日、新しいともだちがやってきて、レッドに海をかいてとたのみます。赤いクレヨンのレッドはうまくかけるでしょうか。